

いわざ民報 本紙は創刊當初に於いて遠からず日刊紙たることを...

労働者祭典メーデー

市郡三地區に分け盛大に執行

血闘の軍國主義の壓迫から解放された喜びと、資本主義への反撃に、明るい未来への希望に燃えて...

守れ自由の旗

平地區は炭礦その他が合同

平地區では午前十一時を期し、合排撃、労働者の經濟參加、厚生市松ヶ岡公園に、潜通り地區労働者協議會所屬の田邊製作、富士...

小名濱地區のプロ

植田町まで示威行進

平地區でも奥羽化學、加里興業、錦地區でも奥羽化學、加里興業、兩工場で夫々従業員大會後、合...

日刊に飛躍

本紙は創刊當初に於いて遠からず日刊紙たることを、幾多の苦難の伴ふことであつて、何人と雖も克く爲し得ざる處であるが、現今の社會情勢は...

勿來町でも

大日本炭礦單獨で、勿來町の大本炭礦では、附近に労働者も全職一つなので、炭礦だけでメーデーを催すが、この際建設的な計画を進めるべく...

東北配電も

参加に決定 東北配電平營業所等でも全従業員が、平市地區へ参加してメーデーに参加、工場内では別段の催しをしないことに決定した。

公設市場設置か

今日からの野菜再統制實施

いよ／＼けふから野菜も廉賣制が廢止になり公定價格に仕上げ付けられぬ再統制への梓の中へ追込められることになつたが、これに就いて平市のお台所を切...

三合増配を要求

この小農組石城協議會で

石城郡下各町村に自主的に結成された農民組合を一本とする。度問題(土地制度委員會議の設置、土地取上げ、開闢對策)農繁期三合増配の要求及び来るべき...

農業會で

區内會の希望通る 平市上、中、下平窪の米穀配給の悩みをあらせはならないと...

自作農 割當面積決る

市郡で三、八六一町五反歩

農地調整法改正に依り全國で百割の對象となるのは六割五分、五十町歩の小作地が、自作農の四萬七千九百二十町四反歩に開放され、又五年計劃で、千拓地、五百六十町一反歩、百五十五町歩の未開墾地が開墾地五百二十七町五反歩とあ...

大野博士を圍んで

少壯實業家が座談會開催

平市少壯實業家有志者四、五人、坂本物次郎村議等の肝煎りで、正木昌次郎、永山勇吉氏等は、めて民主的な父兄會が生まれた。變動極らない昨今の財界の實情、余等は各大字に委員を置いて、將來の見透しその他財政一般に兒童の校外生活の指導に當ら...

草野父兄會

新發足

校外教育完成と 教員生活保護に 草野村では兒童教育は學校にのみ委ねるべきでない、學校と家庭及び社會が一体となつて行ふべきである、且つ教職員に生活保護の悩みをあらせはならないと...

衣料切符は

六月頃に交付が 管理委員會設置 衣料切符は今後配給されるかどうか、郡市民は非常に關心をもつてゐるが、新衣料切符もいよいよ来る六月頃に配付されることに決定された、今後は従前の空手形的切符でなく、實際に配給し得るものに定めて作成されるが、縣でも配給の適正化に万全を期するため、衣料品配給管理委員會を設置せしめらる。

坑夫中毒死

メチールで 湯本町向山三坑夫霜山與右工門さん(四七)は二十八日午後九時ごろメチールを飲んで死した。

言寸ぎわ

國民を僥倖の直前にして政局の安定未し、政治家とは民衆を囁みす、政權に囚はれてゐるのか、第一黨の自由黨が憲政の常道を主張し、社黨また政策的に第一黨を自任して譲らぬ、こゝに於いて自、社黨内閣の濫が出來、破○が、社黨が憲政の常道を主張し、依るものである、従つて憲政の常道とは多數を占めた、第一黨(自由黨)が次の政權を相當すべきであることは、自明の理である、社黨が實質的に第三黨でありながら、政策の第一黨を主張するのは獨斷的であり、民主主義に逆行する專制政治を要求するものだ、自ら政策の第一黨を自負するならば、少數の共黨も、協同黨も主張出來る、或る日本再建の第一歩である、宜しく憲政の常道に協力すべきである、敢へて主張する、一日も早く政局を安定し、國民を當面の饑餓より救ふべし。

